

Tokai

広報とうかい お知らせ版
人・自然・文化が響き合うまち

April [No.217]

4・25

Bi-monthly Magazine
for The People of Tokai

2010年 [平成 22 年]



第22回東海さくらまつり

4月10日・11日の2日間、第22回「東海さくらまつり」のメインイベントが、阿漕ヶ浦公園で開催されました。会場には、子ども連れの家族等、多くの人たちが訪れ、キャラクターショーや演芸大会等を楽しみながら「春のひととき」を過ごしました。

4月から「子ども手当制度」が始まりました

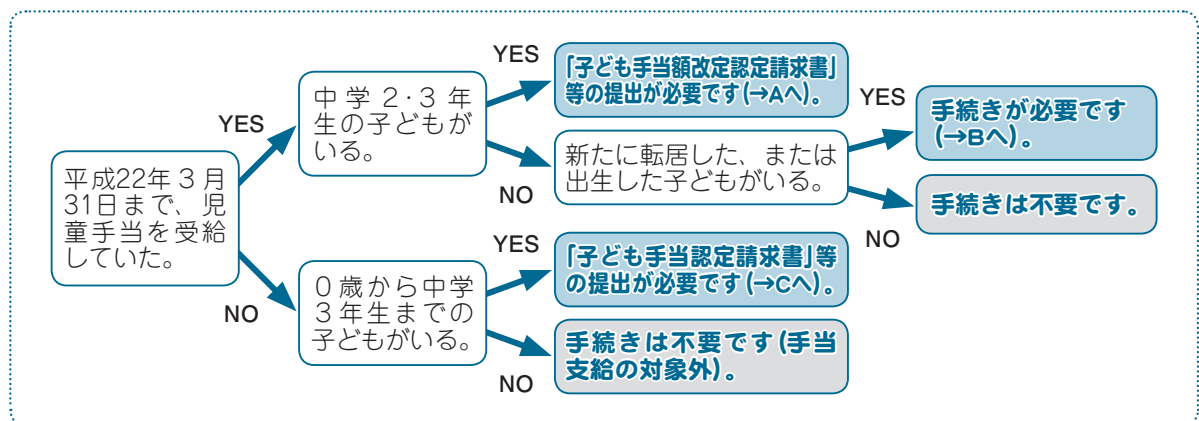
「子ども手当制度」は、次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するという趣旨の下に、親等に手当を支給する制度です。「児童手当制度」では、小学校修了前の子どもが対象で、親等に対する所得制限がありました。が、「子ども手当制度」は、中学校修了前の子どもまで支給対象が拡大し、所得制限もありません。

●**支給対象となる子ども** 平成7年4月2日以降に生まれた(15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある)子ども

●**手当の額** 月額1万3,000円/人 ※年3回(6月、10月、平成23年2月)、前月分までの手当を口座振込で支払います。

●**手当を請求できる方(受給資格者)** 子どもを監護し、かつ、生計を同じくする父または母 ※父母に養育されていない子どもについては、子どもを監護し、かつ、生計を維持する方となります。

●**支給を受けるための手続き等** 次のフローで申請の要・不要を確認し、申請手続きが必要な方については、住所のある市区町村へ申請(認定請求)してください。市区町村では申請内容を審査し、受給資格に適合する方には認定通知書を送付します。なお、公務員の方は勤務先での手続きとなりますので、勤務先にて確認してください。



【A・Cの方へ】

右表「申請に必要なもの」を持参の上、住所のある市区町村へ申請してください。なお、4月分からの子ども手当を受給するためには、9月30日(木)までに、また、最初の支払い月である6月から手当を受給するためには、5月28日(金)までに申請が必要です。

【Bの方へ】

転居等で住所に変更があった方については、転出先の(住所のある)市区町村で手続きが必要となりますので、転出先の市区町村へ問い合わせください(右表「申請に必要なもの」参照)。なお、誕生日(または転出予定日)の翌日から15日以内に申請すれば、出生月(または転出予定月)の翌月分から手当を受給できます。

【申請に必要なもの】

	A	B	C
①印鑑(朱肉を使って押印するもの)	○	○	○
②健康保険証の写し(請求者と対象となる子ども全員分)	○	○	○
③請求者名義の銀行口座が分かるもの(通帳の写し等)	—	○	○
④「子ども手当額改定認定請求書※」	○	—	—
⑤「子ども手当認定請求書※」	—	—	○

※は4月末から5月初旬に郵送予定です。

●**問い合わせ** 福祉部社会福祉課こども室(☎282-1711 内線1185) ※詳細は、村公式ホームページでもご覧いただけます。



●“小学校はどんなところかな”期待を胸に入学式

4月7日、村内の各小学校で入学式(児童総数416人)が行われる中、ここ白方小学校(鈴木洋行校長)でも、新しい校舎での第1期生となる101人が入学しました。上級生と手をつないで入場してきた新入生は、ちょっと緊張した面持ち——。それでも、担任の先生から一人ひとり名前を呼ばれると、元気よく返事をする声が会場に響きました。上級生から校歌を歌ってもらい、学校行事や給食の様子をスライドで紹介してもらおうと、これから始まる生活にワクワクしてきたようです。6年間、この校舎で学び、経験を重ねていく新一年生たち。歓迎してくれたお兄さん、お姉さんのようにたくましく成長していくことでしょう。



平成22年度

東海村奨学金制度(修学資金)奨学生募集

■対 象■

①村内に1年以上住所を有する村民の子(養子を含む)②高等学校・高等専門学校・専修学校・大学に在学する③学業成績が優秀で向学心が旺盛④経済的な理由によって修学困難——を満たす方

■修学資金の額■



学校の種別		貸与月額	定員
高等学校	国公立	25,000円	5人程度
	私立	35,000円	
高等専門学校	第1～3学年	25,000円	20人程度
	第4学年以上	40,000円	
専修学校	高等課程	35,000円	20人程度
	専門課程	40,000円	
大学		40,000円	

■貸与期間■

平成22年4月から在学する学校の正規の修業期間(第1学年以外に在籍する方は残業期間)

■返還期限■

学校を卒業した1年後から10年以内に全額を返還(無利息)

■申し込み・問い合わせ■

5月31日(月)まで(土・日曜日、祝日を除く)の午前8時30分～午後5時15分に、学校教育課(役場行政棟4階)備え付けの願書に必要事項を記入の上、教育委員会学校教育課企画総務担当(☎282-1711 内線1412)へ申し込みください。なお、願書は村公式ホームページからダウンロードできます。

5月の健康体操参加者募集

問合せ 保健センター(☎282-2797)		
●のびのび健康体操(チューブ体操、ストレッチ体操など)		
時間	午前9時30分～10時45分	
対象	期日	場所
	7日(金)	村松コミュニティセンター
村内在住で65歳以上の方	14日(金)	白方コミュニティセンター
	25日(火)	舟石川コミュニティセンター
●エンジョイ・ヘルスアップ(ストレッチ体操、ヨガなど)		
時間	午前9時30分～11時	
対象	期日	場所
	13日(木)	総合福祉センター「絆」
村内在住で40歳以上65歳未満の方	20日(木)	石神コミュニティセンター
	28日(金)	中丸コミュニティセンター

お知らせ・ピックアップ

しいんぽお めーしょん

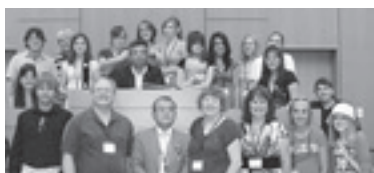
役場の
電話番号 ☎ 282-1711(代表)

テレホンサービス(☎0120-42-4848) ※屋外放送を無料で聞くことができます。

姉妹都市・アイダホフォールズ市 学生訪問団ホストファミリー募集

7月30日(金)から11日間の予定で、村の国際親善姉妹都市・アメリカ合衆国アイダホ州アイダホフォールズ市から、学生訪問団(男性6人、女性10人)が来村します。そこで、学生を受け入れていただけるホストファミリーを募集します。

この機会に“心ふれあう国際交流”をしてみませんか。



●滞在期間 7月30日(金)～8月9日(月)

●募集世帯数 原則、村内の16世帯

●その他 学生訪問団は、月曜日から金曜日の日中は、東海村国際センター主催の行事に参加するため、それ以外の時間をホストファミリーと過ごすこととなります。

●申し込み・問合せ 自治推進課(役場行政棟3階)または姉妹都市交流会館(☎282-0535) 備え付けの申込書に必要事項を記入の上、5月31日(月)までに、総務部自治推進課ホームページ・交流担当(内線1342)または姉妹都市交流会館へ申し込みください。なお、申込書は村公式ホームページからダウンロードできます。

「ハッスル会」会員募集

- 活動日 毎週金曜日
- 時間 午後7時45分～9時
- 場所 中央公民館
- 内容 初心者向けのエアロビクスやヨガを行います。
- 会費 2,000円/月
- 申し込み・問合せ 渡部貴子さん(☎090-7001-4130)

募集

「とうかい環境フォーラム実行委員会」委員募集

「とうかいキャンドルナイト」や「とうかい環境フェスタ」の企画・運営等を行う委員を募集します。

■対象 村内在住・在勤で環境保全活動に関心のある方

■その他 「とうかいキャンドルナイト」は8月に、「とうかい環境フェスタ」は平成23年2月に開催予定です。

■申し込み・問合せ 5月7日(金)までに、経済環境部環境政策課環境計画推進室(内線1453)へ申し込みください。

茶道クラブ「いちえ会」会員募集

- 活動日 第4金曜日
- 時間 午前10時～正午
- 場所 村松コミュニティセンター
- 講師 神永悦子さん
- 会費 1,000円/月
- 申し込み・問合せ 西村貞子さん(☎282-1520)

「レインボークラブ」会員募集

- 活動日 月末の月曜日
- 時間 午前10時30分～11時30分
- 場所 百塚区自治集会所または白方コミュニティセンター
- 対象 2歳から就園前までの幼児とその保護者(15組程度)
- 内容 読み聞かせ、工作、手遊びなど
- 会費 100円/回
- 申し込み・問合せ 根本由利子さん(☎287-0456)

5月のノート相談・DV相談・消費生活相談

場 所	村民相談室(役場行政棟2階)
問 合 せ	総務部自治推進課村民相談室(内線1275)
●ノート相談(☎287-0862)…午前9時～正午、午後1時～5時	7日(金)、11日(火)、14日(金)、18日(火)、21日(金)、25日(火)、28日(金)
●DV相談(☎287-0863)…午前9時～正午、午後1時～4時	6日(木)、10日(月)、12日(水)、13日(木)、17日(月)、19日(水)、20日(木)、24日(月)、26日(水)、27日(木)、31日(月)
●消費生活相談(☎287-0858)…午前9時～正午、午後1時～4時	毎週月曜日～金曜日(祝日を除く)

5月の心配ごと相談・人権相談・行政相談

場 所	心配ごと相談所(総合福祉センター「絆」内)	
問 合 せ	東海村社会福祉協議会(☎282-2804)	
相談日	時間	相談種別
7日(金)	10:00～14:00	心配ごと相談・人権相談 行政相談
14日(金)	10:00～14:00	心配ごと相談・人権相談
21日(金)	10:00～14:00	心配ごと相談・人権相談 行政相談
28日(金)	10:00～14:00	心配ごと相談・人権相談 行政相談
毎週	13:30～15:00	心配ごと電話相談
月・水曜日(祝日を除く)(☎282-0917)		

生きがいつくり支援事業

NPO法人「楽楽茶の間」が村からの委託を受けて行っている「生きがいつくり支援事業」。健康体操やレクリエーションを通して、皆さんも楽しく仲間づくりをしませんか。

■5月の期日・場所

7日(金)	石神コミュニティセンター、舟石川中丸区自治集会所、外宿二区自治集会所
11日(火)	舟石川コミュニティセンター、なごみ・総合支援センター、豊白区自治集会所
14日(金)	白方コミュニティセンター、舟石川中丸区自治集会所、豊岡区自治集会所
18日(火)	石神コミュニティセンター、なごみ・総合支援センター、百塚区自治集会所
21日(金)	村松コミュニティセンター、豊白区自治集会所、百塚区自治集会所
25日(火)	舟石川コミュニティセンター、なごみ・総合支援センター、百塚区自治集会所
28日(金)	中丸コミュニティセンター・豊白区自治集会所・内宿一区自治集会所

- 時 間 午前10時～午後3時
- 対 象 村内在住で65歳以上の方
- 参加費 350円/回(昼食代)
- 問 合 せ 岡部ちい子さん(NPO法人「楽楽茶の間」事務局 ☎284-0215)

菊作りをしてみませんか

東海村菊花連盟では、大菊(盆養)から小菊(ドーム)まで、それぞれ好みの菊花を作っています。皆さんも、丹精込めて育てた自慢の菊花を文化祭に出展してみませんか。



- 活動日 月1回(5月～11月)
- 場 所 真崎区自治集会所(予定)
- 会 費 2,000円/年
- その他 入会時に菊の苗を差し上げます。
- 問 合 せ 植野恒男さん(☎282-3097)

催し物(講演会ほか)

とうかい環境農業塾 「有機農業体験講座」を開催します

「とうかい環境農業塾」の塾生募集に先立ち、「有機農業体験講座」を開催します。農業の初心者からプロの生産者まで、ぜひご参加ください。

- 日 時 5月9日(日) 午後1時～3時
- 場 所 とうかい環境農業塾実証圃場(東海ファーマーズマーケット「にじのなか」そば)
- 対 象 村内在住の方(先着30人)
- 内 容 良質野菜苗の見分け方 ※キュウリ苗の植え付けなどの実技も行います。
- 講 師 涌井義郎さん(財団法人農民教育協会・鯉洲学園農業栄養専門学校教授)
- 受講料 無料
- 申し込み・問合せ 4月28日(水)から5月7日(金)までに、電話(祝日と5月6日(木)を除く)またはファクシミリ(住所・氏名・電話番号と有機農業体験講座参加の旨を明記)で、農業支援センター(☎287-7867 FAX287-7868)へ申し込みください。

いばらき看護職合同進学・就職説明会

- 期 日 5月9日(日)
- 時 間 午前11時～午後3時
- 場 所 水戸プラザホテル(水戸市千波町2078-1)
- 対 象 高校生、看護職を目指す方、看護学生等
- 内 容 求人情報の提供、進学相談、茨城県ナースセンターへの登録・就職相談
- 参加費 無料
- 問 合 せ 社団法人茨城県看護協会・茨城県ナースセンター(☎221-6900) ※事前申し込みは不要です。



5月の休日診療日程

期日	医療機関名	電話番号
2日(日)	東海クリニック	283-1711
3日(月)	村立東海病院	282-2188
4日(火)	村立東海病院	282-2188
5日(水)	東原クリニック	283-2301
9日(日)	茨城東病院	282-1151
16日(日)	石井整形外科クリニック	270-5141
23日(日)	村立東海病院	282-2188
30日(日)	尾形クリニック	282-4781

診療時間 午前9時30分～正午、午後1時～2時

救急医療機関をお探しのときは▼毎日…24時間対応
茨城県救急医療情報コントロールセンター(☎241-4199)
茨城子ども救急電話相談▼午前9時～午後5時…日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)▼午後6時30分～11時30分…毎日
ブッシュ回線の固定電話、携帯電話から(☎#8000)
すべての電話から(☎254-9900)

5月の健康相談

健康相談	相談名	期日	受付時間
	母子健康相談 (乳幼児身体測定、育児相談)	18日(火)	9:30～11:00 13:00～14:00
	元気アップ健康相談 ※予約制 (健康に関する相談)	18日(火)	9:30～11:00 13:00～14:00

乳幼児健診	健診名	期日	受付時間	対象児
	乳児	27日(木)	13:15～14:00	平成21年12月生まれの子
	1歳6か月児	19日(水)	13:15～14:00	平成20年10月生まれの子
	3歳児	26日(水)	13:15～14:00	平成19年3月生まれの子
	2歳半歯科	28日(金)	13:15～14:00	平成19年10月生まれの子

乳幼児教室	教室名	期日	受付時間	対象児
	赤ちゃん教室	25日(火)	13:00～13:20	平成22年2月生まれの子

場 所 保健センター(総合福祉センター「絆」内)
問 合 せ 保健センター(☎282-2797)

「親子ランド」を実施します

- 期 間 5月から平成23年2月まで
- 時 間 午前10時～11時(午前9時30分開門)
- 場 所 サンフラワーこどもの森保育園
- 対 象 ▼第2木曜日…生後6か月以上の子とその保護者 ▼第3木曜日…2歳以上の子とその保護者
- そ の 他 ▼毎週木・土曜日の午前9時30分～11時は園庭開放を行っています(雨天中止)。▼育児相談を随時受け付けていますのでお気軽にご相談ください。
- 問 合 せ 社会福祉法人孝友会サンフラワーこどもの森保育園(☎287-7111) ※月曜日から金曜日までの午前10時～午後3時に問い合わせください。なお、事前申し込みは不要です。

母子家庭を対象とした「訪問介護員2級課程講習会」

- 期 間 6月27日(日)～11月21日(日)(全22日)
- 時 間 午前9時30分～午後4時30分
- 場 所 茨城県立母子の家母子福祉センター
- 対 象 ▼母子家庭となっておおむね7年以内▼全日程出席可能▼今後就労を希望している——を満す母子家庭の母親・寡婦
- 内 容 講義、実技、施設等での実習 ※講義・実技は土・日曜日、施設等での実習(4日間)は平日に実施します。
- 受 講 料 無料(保険料・施設実習時の細菌検査費用は自己負担)
- 申 込 び・問 合 せ 所定の申込書に参加動機を記入したA4原稿用紙を添えて、5月25日(火)(消印有効)までに、茨城県立母子の家母子福祉センター(〒310-0065 水戸市八幡町11-52 ☎221-8497)へ申し込みください。※申込書・A4原稿用紙は社会福祉課(役場行政棟1階)に備え付けてあります。

初めての子育てにとまどっていませんか「母と子のサロン(前期)」を実施します

育児についての情報交換や友達づくりをしませんか。ボランティアスタッフとともに、手遊び、絵本の読み聞かせ、リトミックで楽しく遊びましょう。

- 期 日 5月28日(金)、6月4日(金)・12日(土)・18日(金)・25日(金)(全5回)
- 時 間 午前10時～11時30分
- 場 所 中央公民館ほか
- 対 象 村内在住で0歳児(平成21年6月21日から平成22年1月20日までに生まれた第1子)とその母親(16組) ※応募者多数の場合は抽選となります。

●参加費 無料

- 申 込 び・問 合 せ はがきに①住所②母親と子どもの氏名(フリガナ)③電話番号④子ども(フリガナ)の生年月日・性別——を記入の上、5月11日(火)(必着)までに、青少年育成東海村民会議事務局(青少年センター内 〒319-1115 船場768 ☎282-7049)へ申し込みください。※はがきは1人1枚のみ有効です。



みんなですこやかウォーキング

- 日 時 5月12日(水) 午前10時から
- 集合場所 総合福祉センター「絆」
- 対 象 村内在住の方
- 内 容 約1時間のウォーキング(4kmまたは5kmのいずれかのコースを選択)
- 参加費 無料
- そ の 他 飲み物とタオルを持参の上、歩きやすい服装でご参加ください。
- 問 合 せ 保健センター(☎282-2797) ※事前申し込みは不要です。なお、当日の午前9時30分から総合福祉センター「絆」(保健センター入り口前)で受け付けを行います。



骨粗しょう症予防講演会

- 期 日 5月26日(水)
- 時 間 午後1時30分～3時30分
- 場 所 総合福祉センター「絆」
- 対 象 村内在住の方(50人)
- 内 容 ▼「骨粗しょう症と運動療法」(講師：石井嗣夫さん・石井整形外科クリニック院長) ▼「今日からあなたも骨美人…豊かな人生を送る知恵を学びませんか」(講師：小室秀子さん・管理栄養士)
- 参加費 無料
- その他 予約制保育サービス(無料)があります。
- 申し込み・問合せ 5月14日(金)までに、保健センター(☎282-2797)へ申し込みください。

ニュースポーツ教室

- 健康維持や体力づくりのために、ぜひニュースポーツをしてみませんか。
- 期 日 5月19日・26日、6月2日・9日・16日・23日・30日、7月7日・14日・21日(すべて水曜日 全10回)
 - 時 間 午前10時～11時30分
 - 場 所 総合福祉センター「絆」
 - 対 象 村内在住でおおむね65歳以上の方(先着30人)
 - 内 容 グラウンドゴルフ・ペタンク・シャッフルボードなど
 - 参加費 1,000円/人
 - 申し込み・問合せ 4月28日(水)から5月12日(水)までに、高齢者センター(☎282-4300)へ申し込みください。

五十人山ハイキング

- 期 日 5月15日(土)
- 時 間 午前6時30分出発(午前6時20分にふれあいの森公園集合)
- 場 所 五十人山(福島県双葉郡葛尾村)
- 対 象 村内在住・在勤(同居家族を含む)またはSCスマイルTOKAI会員で18歳以上の方(先着40人)
- 内 容 ハイキング初心者の方にも歩きやすいコースです(所要時間約2時間)。※山ツツジが見ごろの時期です。
- 参加費 一般…6,000円/人
会員…4,000円/人、会員配偶者…5,000円/人
- 申し込み 4月29日(木)から5月9日(日)までの午前9時～午後5時に、参加費を添えて、総合体育館へ申し込みください。
- 問合せ SCスマイルTOKAI事務局(総合体育館内 ☎297-4370)



2010ジュニアトライアスロン大会in笠松

- 期 日 7月25日(日)(小雨決行)
 - 時 間 午前8時～午後2時
 - 場 所 笠松運動公園内および水泳場
 - 対 象 25m以上泳げる小学1年生～6年生(ビート板・ブイ使用可)
 - 内 容
- | クラス | 水 泳 | 自転車 | ランニング | 定員 |
|-----|-----|--------|--------|-----|
| 1年生 | 23m | 1,000m | 500m | 24人 |
| 2年生 | 23m | 1,000m | 500m | 24人 |
| 3年生 | 46m | 1,350m | 800m | 16人 |
| 4年生 | 46m | 1,350m | 800m | 16人 |
| 5年生 | 92m | 1,700m | 1,100m | 16人 |
| 6年生 | 92m | 1,700m | 1,100m | 16人 |
- 参加費 3,000円/人
 - 申し込み・問合せ ▼笠松運動公園水泳場備え付けの申込用紙▼誓約書▼参加費(現金書留または定額小為替)▼80円切手——を同封の上、5月1日(土)から6月20日(日)までに、関根勇さん(「2010ジュニアトライアスロン大会実行委員会」事務局 〒311-1307 東茨城郡大洗町桜道545 ☎267-2980)へ申し込みください。
※定員となり次第締め切ります。



エトセトラ

「東海村後期高齢者サポート事業」の申請

- 村では、後期高齢者医療制度へ移行したことによる保険料の負担を軽減するため、助成金を交付します。申請をしていない方は、早めにご手続きをしてください。なお、既に申請された方には、4月28日(水)に振り込みを予定しています。
- 対 象 ①平成22年1月1日現在、村の後期高齢者医療制度の資格がある②平成21年度の後期高齢者医療保険料を完納している——を満たす方
 - 算定方法 平成21年度保険料のうち、均等割額の2分の1の額(上限15,000円) ※均等割額が軽減されている方は、軽減後の額で算定します。
 - 申し込み・問合せ 福祉部保健年金課地域医療担当(内線1135)

東海村春季卓球大会

- 日 時 6月6日(日) 午前9時から
- 場 所 総合体育館
- 種 目 ▼団体戦…男子(1部・2部・3部)、女子(1部・2部・3部) ▼個人戦…男子(1部・2部・3部)、女子(1部・2部・3部)
- 参加費 ▼団体戦…連盟登録チーム1,500円/チーム、一般2,250円/チーム、小中学生750円/チーム ▼個人戦…連盟登録者400円/人、一般600円/人、小中学生200円/人
- 申し込み・問合せ 総合体育館備え付けの申込用紙に必要事項を記入の上、5月18日(火)までに、総合体育館設置の申し込み箱に入れていただくか、泉睦子さん(☎・FAX306-2887)へファクシミリで申し込みください。

土地区画整理審議会委員選挙の選挙人名簿縦覧

水戸・勝田都市計画事業東海中央土地区画整理審議会委員選挙に係る選挙人名簿の縦覧を行います。

- 期 間 5月10日(月)～23日(日) ※土・日曜日でも縦覧できます。
- 時 間 午前8時30分～午後5時15分
- 場 所 区画整理課(役場行政棟2階) ※土・日曜日は夜間出入り口(庁舎北側)からお入りください。
- 対 象 東海中央土地区画整理事業地内に土地所有権を有する方または借地権等の申告をされた方
- 問 合 せ 建設水道部区画整理課管理担当(内線1212)

経口生ポリオワクチン予防接種

ポリオ(小児まひ)に対する免疫をつけるための予防接種です。投与間隔が離れても免疫はつきますので、ワクチン投与は2回受けましょう。

- 実 施 日 5月12日(水)・13日(木) ※いずれかの日程で接種してください。1回目と2回目は41日以上間隔を空ける必要があります。
- 時 間 午後1時～2時
- 場 所 保健センター
- 対 象 生後3か月から7歳6か月未満の乳幼児で、合計2回の投与が済んでいない方
- そ の 他 母子健康手帳と予診票を持参してください。※予診票が届かない方は問い合わせください。
- 問 合 せ 保健センター(☎282-2797)

子どものライターによる火遊びに注意!

子どもの火遊びによる火災の実態を調査した結果、ライターに起因するものが半数以上を占めており、5歳未満においては、死傷者発生率が高いことが確認されました。幼い子どもが在る家庭では次の点に注意しましょう。

- ▼手の届くところにライターを置かない。
- ▼ライターを触らせない。
- ▼ライターで火遊びをしているところを見掛けたら、注意してすぐに止めさせる。
- ▼理解できる年齢になったら、ライターや火事の怖さを教える。
- 問 合 せ 消防本部予防課(☎282-2038)



不妊治療費を助成します

村では、4月から不妊治療を受けた方に治療費の一部を助成します。

- 対象治療 体外受精、顕微授精
- 対 象 者 ▼夫婦いずれか一方が村に住所を有する▼茨城県不妊治療費補助金の交付決定を受けている——を満す方
- 助 成 額 不妊治療に掛かった費用(受診等証明書の領収金額)から県補助金を差し引いた額(上限75,000円)を年間2回まで、通算5年間助成します。
- 申し込み・問合せ ▼保健センター備え付けの「不妊治療費助成金交付申請書」▼「茨城県不妊治療費補助金交付決定通知書」の写し▼「茨城県不妊治療費助成事業受診等証明書」の写し▼印鑑▼口座番号が分かるもの——を持参の上、保健センター(☎282-2797)へ申し込みください。※茨城県不妊治療費助成事業については、ひたちなか保健所(☎265-5515)へ問い合わせください。

となりのまちから イベントガイド

日立市 ● ひたち国際大道芸

世界で活躍する37組のアーティストが大集合。興奮の空中ブランコやアクロバット、ユーモアたっぷりのパントマイム・コメディ、いつもの街並みを変えるウォーキングアクトなど、多種多様なパフォーマンスが会場を盛り上げます。

日立会場

- ◆日 時 5月8日(土) 正午～午後5時
※午後6時～8時には夜会(夜の大道芸)もあります。
- ◆場 所 ひたちぎんざもーる、まいもーる、まえのうち児童公園、パティオモール、日立新都市広場

多賀会場

- ◆日 時 5月9日(日) 正午～午後5時
- ◆場 所 よかっぺ通り、多賀市民プラザ広場、すずらん通り、駅前通り、あんず並木通り
- 問 合 せ 日立シビックセンター(☎0294-24-7711)

3月の村内交通事故発生状況

	発生件数	死者数	負傷者数
3月中の件数	26	0	32
1月からの累計	63	0	83
前年との比較	+15	-1	+28

多重債務相談窓口

水戸財務事務所では、多重債務相談の窓口を開設しています。借金の返済でお困りの方はお電話ください。秘密は厳守します。

- 時 間 月曜日から金曜日までの午前8時30分～午後4時30分(正午～午後1時を除く)
- 問 合 せ 財務省関東財務局水戸財務事務所多重債務相談窓口(専用ダイヤル☎221-3190)



5月の資源物・ごみ収集日割表 (祝日の収集も行います)

問い合わせ 経済環境部ごみゼロ推進課(☎282-7289)

資源物		燃えないごみ・粗大ごみ	
真崎、村松北、舟石川丸、外宿2	5日・12日 19日・26日	外宿1	11日・25日
船場、照沼	5日・19日	内宿1、亀下	6日・13日 20日・27日
原子力機構(長堀1・長堀2・荒谷台(箕輪)、須和間、フローレスタ須和間)	3日・10日 17日・24日	百塚、内宿2、豊岡、舟石川3	6日・20日
緑ヶ丘	3日・17日	竹瓦	13日・27日
白方	10日・24日	舟石川2	7日・14日 21日・28日
舟石川1、原子力機構(百塚)	4日・11日 18日・25日	南台、川根	7日・21日
宿、押延、岡	4日・18日	豊白	14日・28日
		※各回収日の午前7時から8時30分までに出してください。	
		真崎、村松北、権現山寮、真砂寮、原子力機構(荒谷台)	4日・18日
		原子力機構(長堀1・長堀2)、長堀寮、舟石川3、石橋向住宅、外宿1、外宿2、竹瓦	3日・17日
		緑ヶ丘、南台、豊岡、亀下	7日・21日
		百塚、豊白、内宿1、内宿2	6日・20日
		白方、岡、原子力機構(百塚)	11日・25日
		舟石川1、船場	10日・24日
		宿、川根、照沼、押延、須和間、フローレスタ須和間、原子力機構(箕輪)	14日・28日
		舟石川2、舟石川丸	13日・27日
		(毎週)月曜日・木曜日	3日・6日・10日・13日・17日 20日・24日・27日・31日
		(毎週)火曜日・金曜日	4日・7日・11日・14日・18日 21日・25日・28日

※旧原子力機構(太田)は、4月から原子力機構(箕輪)に含まれます。



肝硬変、肝がんへの進行を防ぐ 肝炎の早期発見・早期治療

内蔵の中で最も大きく、多くの機能を保持することで知られており、私たちの健康を維持する上で、重要な役割を担っています。しかし、「沈黙の臓器」といわれるように、病気になるのも自覚症状が現われにくく、「なんとなく身体がだるい」と感じるころには、肝臓の病気がかなり進行していることが多くあ

知っていたり、研究財団が主催となり、重点的に普及啓発活動を実施しています。今年5月17日(月)から23日(日)までとなります。

今月は「肝炎」についてのお話です。
■5月の第4週は「肝臓週間」
 肝疾患についての正しい知識と感染予防の重要性を

「肝臓」とは
 肝臓専門医を受診していただきながら経過を見ていくことが大切です。
 国では肝炎の治療に対する医療費を一部助成する制度があります。4月からは自己負担限度額の引き下げや、助成対象治療の拡大等が実施されています。詳しくは、

「肝炎」とは
 肝臓に炎症が起きている状態、すなわち肝臓の細胞が破壊されている状態を指します。原因別に▼ウイルス性肝炎▼薬剤性肝炎▼アルコール性肝炎▼自己免疫性肝炎▼などの種類がありますが、日本では、「ウイルス性肝炎」が最も多いといわれています。

「ウイルス性肝炎」とは
 肝炎ウイルスに感染して、肝臓の細胞が壊れていく病気です。肝臓は再生能力が高く、丈夫な臓器ですが、この病気にかかると徐々に肝臓の機能が失われていき、最後には肝硬変や肝がんに進行してしまいます。ただし、早期発見・早期治療をすることで、それらへの進行を防ぐことが可能です。

「ウイルス性肝炎」の感染を予防するためには
 他人の血液に安易に触れないことです。常識的な注意事項を守っていれば、日常生活で感染することはありません。くしゃみ、咳、抱擁、食べ物・飲み物・食器の共有等では感染しません。
 肝炎に対する正しい知識を広め、感染を予防することはもちろん、患者や感染者の方々への差別や偏見をなくしていくことが大切です。

「ウイルス性肝炎」検査は
 村では、平成13年からB型・C型肝炎ウイルスの早期発見・早期治療のために、総合検診・住民検診時に肝炎ウイルス検査を実施しています。18歳以上でまだ検査を受けたことのない方はぜひ受診してください。

厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp>)をご覧ください。

問い合わせ
 保健センター(☎282局2797)



なかざわしおり
中澤詩識さん

(村松)

今回は、社会福祉法人こばと会チューリップ保育園に勤務する中澤詩識さん(22歳)の登場です。幼稚園のころから保育士という仕事にあこがれていた詩識さんは、4月から、その夢をかなえ保育士として1歳児を受け持っています。「この仕事は、子どもの貴重な成長にかかわり、その成長する姿を見られる仕事なんです」――保育士になりたいと決意させたのは、高校の授業で訪れた幼稚園の先生からの言葉でした。子どもたちと接するときは、同じ目線でものを見るように心掛けているという彼女。「これからいろいろな経験を積んで、おもちゃなどに頼らなくても自分自身で子どもたちを楽しませてあげられるような保育士になることが目標」と話します。

そんな詩識さんの趣味はバドミントン。小学3年生から続けており、幅広い世代の方々と交流できるのも楽しみなんだとか。何事も最後まであきらめないことをモットーに、「これから子どもたちの笑顔のために活躍してゆきたいです」。



ふるさと歴訪
自然を探して

前谷津溜に里心を創る

茨城県環境アドバイザー

廣瀬 誠

野に1本の木を植えることは、大地の生命の躍動と共に歩む暮らしを手に入れることです。土・水・大気、それに日光に育まれて成長する木は、いつかは植えた人の背丈よりも高く伸び、長く生き続けます。

啓蟄の朝、国道6号から原電通りを走り、鉄路を横切る手前の左手。松山霊園に隣接する原野に、岡区・内宿二区の有志の皆さんと村内の「里山の会」自然のみどりを守る会」の精鋭、役場の担当者等、40人ほどが集い植樹祭を行いました。下刈りが行き届いている林床の堆積した落ち葉の下、黒土を掘った穴に、一人ひとりが選んだクヌギ、コナラ、エノキ、それにタブノキの苗木を植える作業の間、楽しい会話が続き、手際良く1時間ほどで植樹完了。

若い父親とかわいい4歳の少女が、村長さんとクヌギの苗を植えました。3世代での手植えに皆の笑みがこぼれていました。クヌギ、コナラは平地林の主役、タブノキは海辺を好む樹種の一つ。



この地は、数年前までは荒れ放題の雑木林で、踏み込もうにもアズマネザサの茂みが壁で無理でした。そこで、村はこの地一帯にふさわしい樹種を求め、木々の四季の移りを楽しみながら、誰もが安心して、緑を主体とする景観の美を体感できる自然公園を仕立てようとしています。

地元の皆さんの知恵を生かし、1本1本の木の生命を大事にして、年間、いつでも、自然に生きる何者かに会える里山創造の第1号を、ここ前谷津溜の林で始めたのです。植えた105本の苗木すべてが、「みどりの日」に若々しい芽を伸ばし、幼な葉を広げています。ウグイスの鳴き声が響きま

す。そんな情景を思い浮かべながら、10年先よりも20年先が楽しみな里山づくりです。第2号、第3号と続けて、個性豊かな緑と花の公園を各地区に育て上げたいものです。